

令和5年度事業計画書

現在、食肉業界は、新型コロナウイルス感染症の食肉販売への影響が依然大きく残る中で、急激な為替変動、ロシアによるウクライナ侵攻等によって原材料等の価格が上昇するなど厳しい環境にあり、その対応を迫られています。

一方、センターにおいては、令和4年5月に新棟のG棟を開業し、出店者と相談しながら施設の運用改善を図ってきています。

令和5年度は、業界においては、コロナ禍後に向けた取組みや収まる様子のない物価上昇へ対応が求められる状況となっています。

このような中、センターとしては、部分肉価格情報や食肉業界の販売動向の情報提供を的確に行うとともに、A・B棟の解体工事と駐車場整備を進めてまいります。

1 部分肉取引情報業務

(1) 取引情報の収集・公表等

全国の主要食肉卸売企業から収集する部分肉取引情報について、公表地域（首都圏、近畿圏、中京圏及び九州地域）ごとに畜種別、部位別に集計し、ホームページ、新聞、業界誌を通じて速やかに公表します。

また、データ提供企業におけるデータ送信についての問題の解決、状況改善及び企業との関係強化を図るため、必要に応じて企業訪問や支援を行います。

(2) 食肉業界の販売動向についての情報収集・公表

食肉の販売状況や価格変動の要因等について、需要期（ゴールデンウィーク、夏期及び年末年始）を節目に食肉事業者から聴取し、的確にその動きを把握します。

また、この聴取結果については、食肉業界の販売動向として取りまとめ、公表します（年3回）。

2 部分肉流通施設の貸付け・整備等

(1) A・B棟の解体及び跡地の駐車場整備

管理棟・共同利用棟の解体及び跡地の駐車場整備工事は、予定どおり令和4年11月30日に終了し、利用を開始しました。これに続いて、令和4年12月1日からA・B棟の解体に着手しており、その跡地については令和5年11月末を目途に駐車場として整備し、同年12月から利用開始する予定です。

また、この利用開始時期に併せて、川崎センター内のすべての大型、中型車専用駐車場の使用料金の概ね2倍程度に引き上げます。

なお、千鳥町代替駐車場については、令和5年12月31日までは賃貸借契約を継続します。

(2) 部分肉流通施設等の貸付け

センターにおける部分肉流通施設等について、関係者からの情報収集、事業者への働きかけ等を行うことにより、空き小間の解消に努めます。

部分肉流通施設の空き小間状況（令和5年2月末日現在）

川崎センター G棟1小間、G棟事務室1小間

大阪センター 南館事務室2小間、北館事務室2小間

計 6小間

(3) 施設設備の修繕等

通常の施設設備の修繕等については、工事内容の緊急性、重要性等を勘案して計画的・効率的に行うことにより、機能の維持向上を図ります。

また、出店者の入退去に伴う原状回復工事等に随時対応します。

(4) 衛生対策事業等の実施

センター内の衛生水準の向上を目的として、共用部分の衛生検査及び衛生水準向上対策の実施、専門業者による共用部分の清掃消毒等を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、消毒作業に必要な資材等を準備するとともに、必要に応じて保健所等の指導方針に沿った対応をまいります。

3 部分肉の流通の改善及び合理化のための調査等

(1) 食肉をめぐる情勢の分析・公表

コロナ禍や国際情勢、物価上昇等は食肉の需給に大きな影響を与えてきていることから、引き続き関連の情報やデータを分析・評価し、結果をレポートにまとめて公表します。

また、これらの分析・評価の結果について、セミナーなど適切な機会を捉えて対外的に紹介します。

(2) 部分肉取引規格の実態調査

令和4年度から実施してきた牛・豚部分肉取引規格実態調査及び専門家の協力を得て行ったコマーシャル規格の検証について、レポートとして取りまとめ公表します。

(3) ちくさんフードフェアの中止

令和5年度におけるちくさんフードフェアについては、開催時期が駐車場整備工事期間と重なり、フェア会場を安全な状態で確保することができないことから、中止します。

(4) 研修会の開催

センター出店者をはじめ食肉関係者や消費者等を対象に、川崎及び大阪において、食肉流通の改善及び合理化のための研修会を開催します。

(5) 食肉流通標準化システム協議会活動の推進

食肉流通標準化システム協議会の事務局として、その活動を推進し、令和5年度においては、電子帳簿保存法への対応等のシステム関連事項について協議会メンバー間の意見交換等を行います。

4 広報活動の実施

センター及びその活動を広く周知・普及するため、令和4年度に立ち上げた新たなホームページ「総合サイト」を通じて積極的に情報発信をするとともに、イベント等でパンフレットを広く配布するなどいろいろな機会を捉えて広報活動を実施します。